

令和 7 年度青森県の新規就農状況調査結果について

県では、「青森新時代『農林水産力』強化パッケージ」の柱の一つに「次代を担う人財の確保・育成」を掲げ、新規就農の促進に取り組んでいます。

この度、令和 7 年度における県内の新規就農状況を取りまとめたので、お知らせします。

1 調査対象期間

令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月

2 調査方法

県内各市町村及び農業委員会、農業法人、一般社団法人青森県農業会議、県教育委員会等が把握しているデータを県が取りまとめ集計

3 調査結果

(1) 概要

- ・令和 7 年度の新規就農者数は、前年度より 58 人減少の 252 人となった。
- ・このうち就農形態別では、独立自営就農者が 95 人、農業法人就職者が 129 人、経営参加が 8 人だった。
- ・令和 6 年度と比較し法人就職者が大きく減少しているが、これは令和 6 年度の下北地域の農業法人における新規雇用に伴うものである。

【青森県の年度別・就農形態別の新規就農者数（単位：人）】

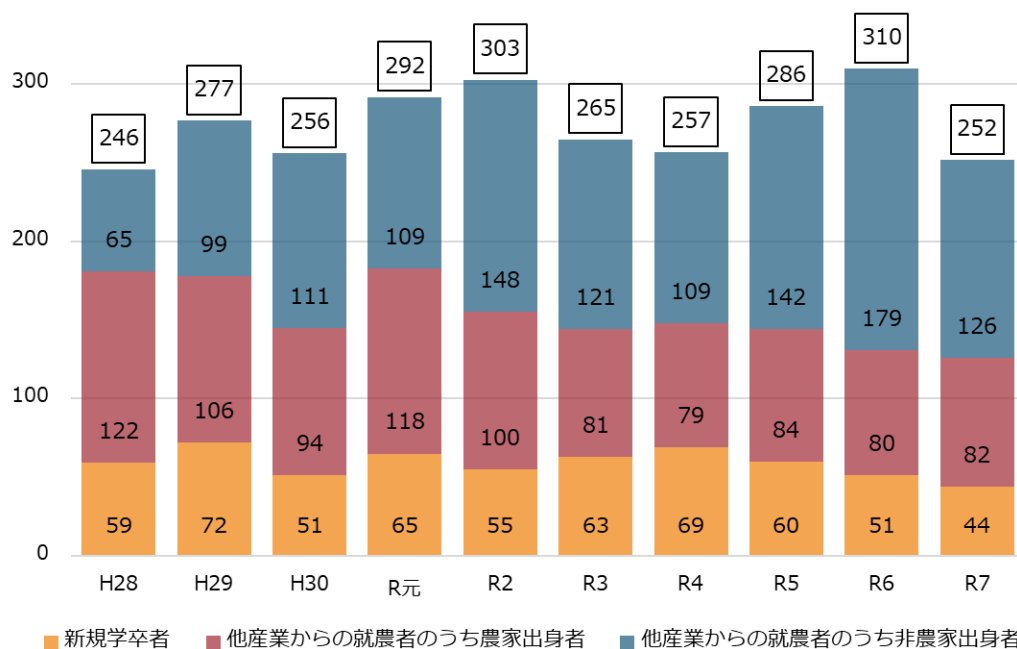
就農形態	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	対前年度比 (R7/R6)	R2～R6の 5 年平均(A)	過去 5 年対比 (R7/A)
独立自営	153	131	115	105	106	88	100	118	96	95	99%	101.6	94%
法人就職	39	88	94	110	157	130	109	129	176	129	73%	140.2	92%
経営参加	8	15	12	30	11	16	10	9	10	8	80%	11.2	71%
その他・不明	46	43	35	47	29	31	38	30	28	20	71%	31.2	64%
総計	246	277	256	292	303	265	257	286	310	252	81%	284.2	89%

※中高の新規学卒者の一部は、就農形態が不明のため「その他・不明」に分類。

(2) 出身別による新規就農者数

- ・新規学卒者が44人、他産業等からの就農者のうち、農家出身者が82人、非農家出身者が126人となった。

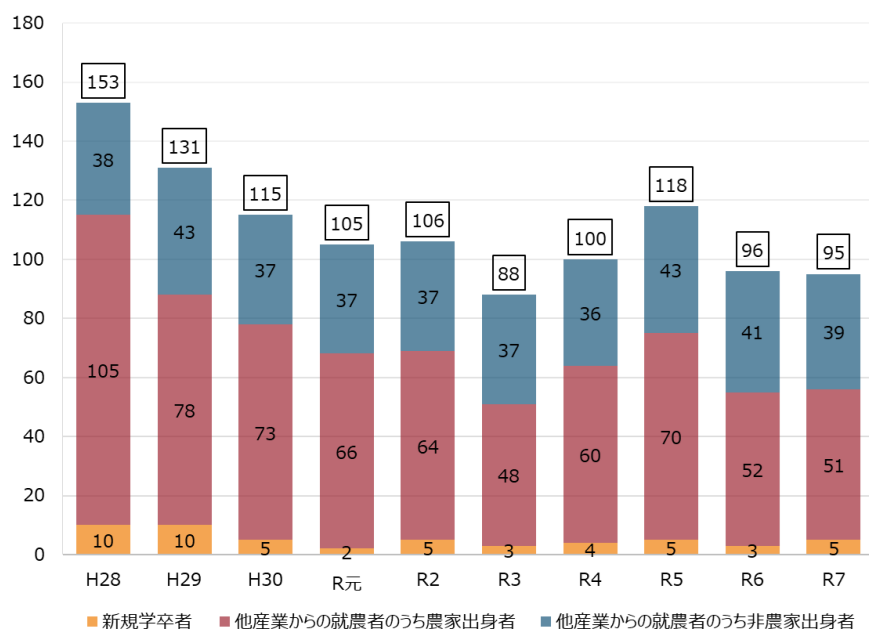
【出身別の推移（単位：人）】



①独立自営就農者数（出身別）

新規学卒者が5人、他産業等からの就農者のうち、農家出身者が51人、非農家出身者が39人となり、前年度より1人減少した。

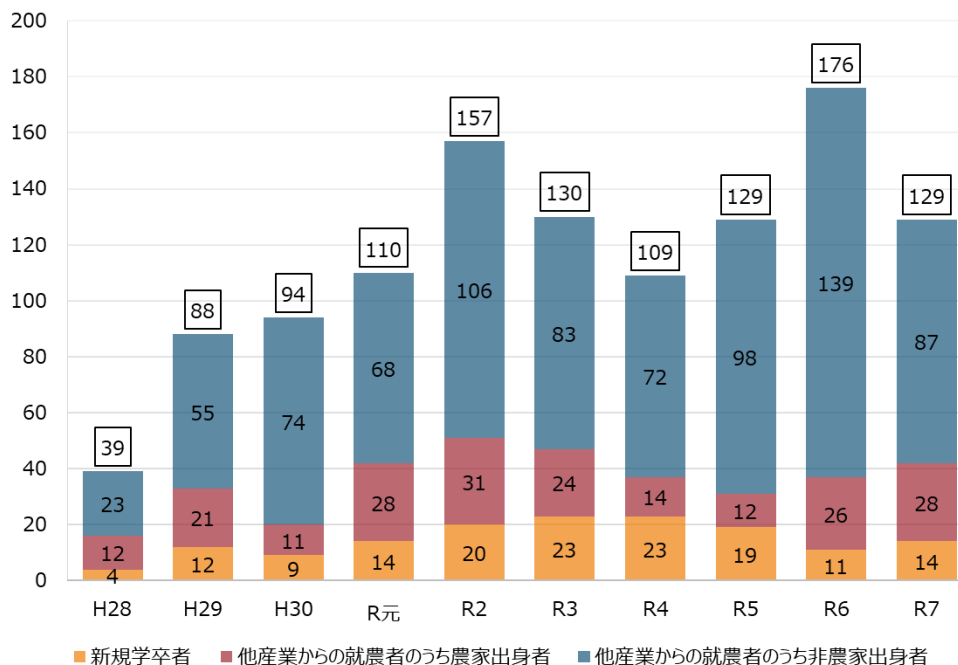
【独立自営就農者（出身別）の推移（単位：人）】



②農業法人就職者数（出身別）

- ・新規学卒者が14人、農家出身者が28人、非農家出身者が87人となった。
- ・特に、非農家出身者が前年度より52人の減少となった。

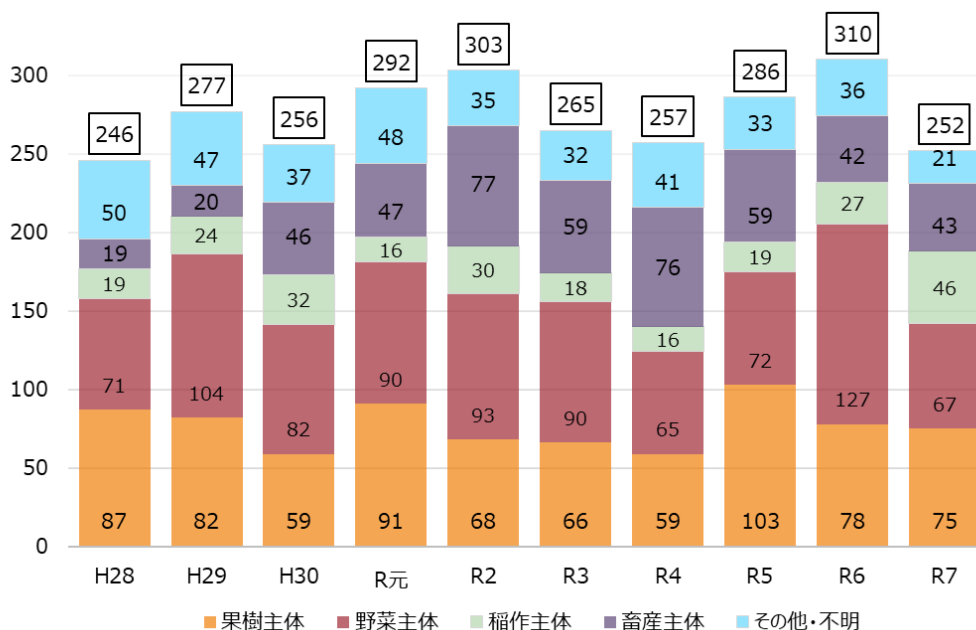
【農業法人就職者の推移（単位：人）】



（3）営農類型別による新規就農者数

- ・果樹主体が75人、野菜主体が67人、稲作主体が46人、畜産主体が43人であった。
- ・特に、稲作主体が前年度より19人の増加、野菜主体が60人の減少となった。

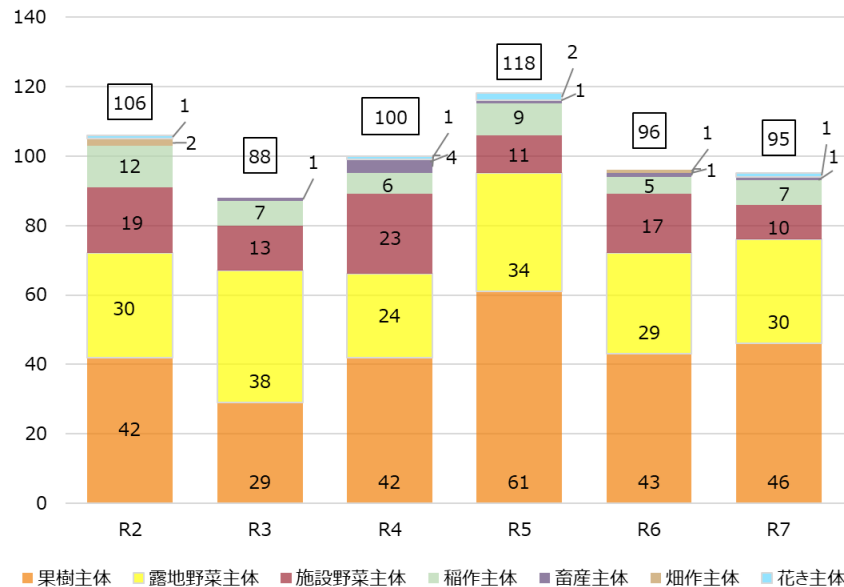
【営農類型別の推移（単位：人）】



①独立自営就農者数（営農類型別）

- ・果樹主体が46人、露地野菜主体が30人、施設野菜主体が10人、稲作主体が7人、畜産主体と花き主体が1名ずつであった。
- ・特に、果樹主体が前年度より3名の増加、施設野菜主体が7名の減少であった。

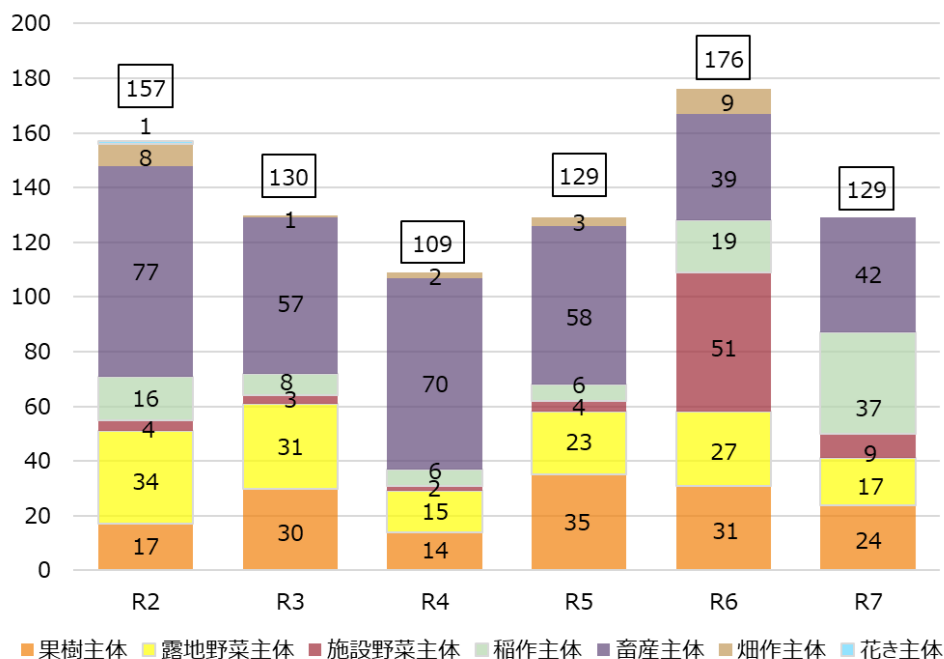
【 営農類型別の推移（単位：人） 】



②農業法人就職者数（営農類型別）

- ・果樹主体が24人、露地野菜主体が17人、施設野菜主体が9人、稲作主体が37人、畜産主体が42人であった。
- ・特に、稲作主体が前年度より18人の増加、露地野菜主体が10人の減少、施設野菜主体が42人の減少であった。

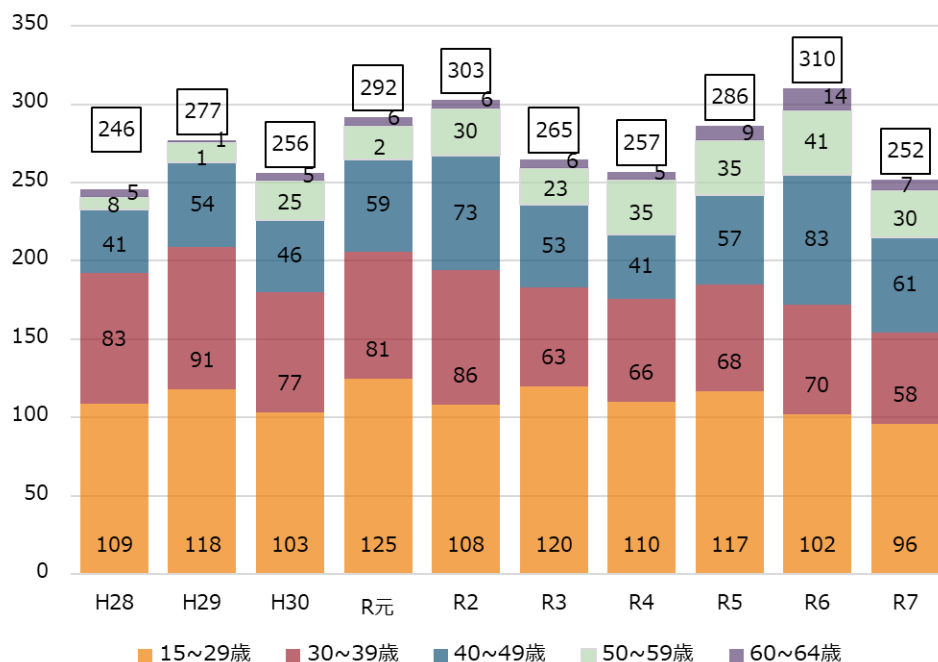
【 営農類型別の推移（単位：人） 】



(4) 年代別による新規就農者数

15～29 歳が 96 人、30～39 歳が 58 人、40～49 歳が 61 人、50～59 歳が 30 人、60～64 歳が 7 人であった。

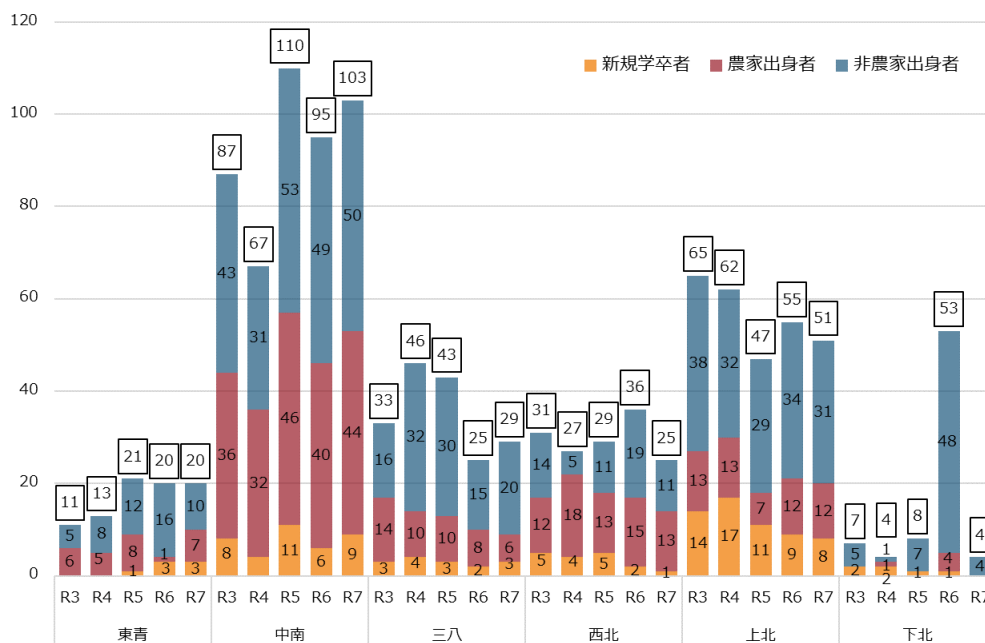
【 年代別の推移（単位：人） 】



(5) 各地域における出身別の新規就農者数

- ・中南が 103 人と最も多く、次いで上北が 51 人、三八が 29 人であった。
- ・前年度と比較すると、中南・三八が増加し、西北・上北・下北が減少、東青は横ばいだった。

【 地域別・出身別の推移（単位：人） 】



4 今後の取組

引き続き、市町村や関係機関・団体と連携して、就農啓発・相談から就農準備期、就農初期、就農定着期までの各段階に応じた切れ目のない支援に取り組む。

(1) 就農啓発・相談～就農準備期

- ・青森県農業・就農情報サイト「農なび青森」を活用した農業の魅力や就農支援制度等の情報発信
- ・高校生を対象とした農業法人による出前授業、酪農・畜産関係施設見学、家畜審査研修等の実施
- ・営農大学の「あおもり農力向上シャトル研修」や国の新規就農者育成総合対策事業を活用した研修などによる就農前の技術習得の支援
- ・就農希望者を農業法人へ一定期間派遣し、期間終了後に当該法人への就職を促進するトライアル就農によるマッチングの実施
- ・「青森県農業経営・就農サポートセンター」や新・農業人フェア等による就農相談対応

(2) 就農初期

- ・経営・技術、営農資金、農地などに関する相談活動や現地指導の実施
- ・経営確立に向けた新規就農者育成総合対策事業の活用促進
- ・「青森県農業経営・就農サポートセンター」による専門家派遣や関係機関の伴走型支援等による助言・指導

(3) 就農定着期

- ・栽培技術や経営管理能力の向上を図るための集合研修や発展段階に応じた個別指導等の実施
- ・地域農業者との交流会等の開催
- ・経営課題に対応した各種補助事業等による支援
- ・あおもり農業経営塾やあおもり農業グローバルチャレンジ支援によるグローバルな視点を持った人財の育成